



⑨株式会社エフピコ

使用済み食品トレーの回収 エフピコ方式のリサイクル

株式会社エフピコは、1962年に設立した、食品容器の製造・販売を行う会社です。

これまでの木や紙の容器は、食品から出る水分により食中毒のリスクがありましたが、プラスチック容器は水分を含むことが無く衛生的で、トレーの約95%は空気のため、省資源で軽くて丈夫な容器です。1980年代にゴミ処分場のひっ迫など、ごみ処理問題を解決するため、エフピコは使用済みトレーの回収をいち早く開始しました。

使う人、売る人、運ぶ人、作る人のみんなで力を合わせるリサイクルが、「エフピコ方式のリサイクル」です。

①**使う人「消費者」**は、トレーを洗い、乾燥させ、

②**売る人「スーパー」**は、回収ボックスなどを設置し、トレーを回収、

③**運ぶ人「包材問屋」**は、トレーを納品した



リサイクル工場の様子

際に、帰りの便で回収したトレーを引き取る、
④**作る人「エフピコ」**は、使用済みトレーを回収して、再生容器にリサイクルする。「エフピコ方式のリサイクル」により、全国10,680店舗から、毎月約600トンのトレーが回収されています。

原油から食品トレーを作る工程では多くの二酸化炭素が排出されますが、回収トレーから作る工程は二酸化炭素排出量を抑えることができます。

回収したトレーは食品衛生法に基づき、衛生的な原料に戻し、再び容器トレーにリサイクルされます。また、再生トレーの両面には未使用の薄いプラスチックシートを貼り合わせ、二重の安全対策がされています。

買い物に「エコバック」を持参する時、お家にあるトレーやペットボトルをエコバックに入れてスーパーにお出かけください。環境に優しい「循環型」のライフスタイルにしませんか。(脱温暖化センターひろしま)



集められたトレー



第41回全国情報統計研修会が8月22日、23日の両日、ホテルグランヴィア広島で開催されました。

公益財団法人予防医学事業中央会が主催するこの研修会は、予防医学運動を推進する全国の32支部の情報統計・システム開発部門の担当者が一堂に会し、健診検査における関係帳票の作成はもとより、これからの情報統計のあり方などを模索・研究し、情報統計担当者として

の資質の向上を目的としています。令和6年度は広島県支部である当協会が中央会と共に主催し、全国26支部と当協会スタッフを含む総勢90名が参集し、盛会のうちに終了しました。1日目は、情報システム、職域健診、施設健診・人間ドック、地域健診の4つのグループに分かれ、日常業務の問題解決に向けて意見交換が

行われました。2日目は、主催者として当協会理事長兼森裕のあいさつではじまり、支部紹介として2022年に当協会に導入したWebソリューションと誘導支援システムについて、その効果と課題について発表しました。全体討議では「情報セキュリティについて考える」をテーマとして神奈川県支部の杉坂徹氏が座長を務め、「埼玉県支部が受けたサイバー攻撃 経過と対策」と題した埼玉県支部の貴重な事例報告をもとにディスカッションが行われました。

昨今、サイバー攻撃は決して珍しい犯罪ではありません。予防対策も重要ですが、実際に攻撃を受けた場合の対策を整えておくことが、いかに重要であるかを認識させられることとなりました。第42回は三重県で開催される予定です。(健康科学センター)

第41回全国情報統計研修会開催

予防医学運動の一翼を担う情報統計担当者が集う

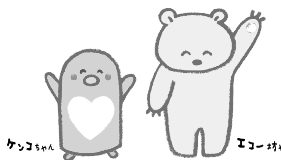
キャラバンフィットネス® かんぽきょう店閉店のお知らせ

2024年9月末をもちまして、キャラバンフィットネス® かんぽきょう店は閉店いたしました。

2018年12月1日にオープンし、6年弱という短い期間でしたが、ご愛顧を賜りましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。



令和6年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和6年度で65回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

35,592,566円

(令和6年9月末実績)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,035,400	71.8
海田町	1,456,000	68.6
熊野町	1,324,760	96.6
坂町	311,914	86.5
江田島市	1,603,800	97.3
竹原市		
大崎上島町		
大竹市	2,262,760	97.7
廿日市市	2,300,040	70.1
廿日市市大野	2,516,806	99.1
廿日市市佐伯	298,800	101.0
廿日市市吉和	41,300	79.0
廿日市市宮島	176,300	95.6
安芸太田町		

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	979,450	97.7
安芸高田市	807,000	41.3
東広島市	4,065,056	96.0
三原市	1,158,220	83.0
世羅町	324,890	43.4
尾道市	3,101,240	73.2
福山市	8,107,640	96.8
府中市	1,001,900	98.4
神石高原町		
三次市	1,356,603	62.0
庄原市	1,302,200	57.9
その他	60,487	103.4
合計	35,592,566	77.6

市町別一覧表

※この表は、令和6年9月末日現在、各市町公衛協から募金委員会に報告のあった募金額を記載しています。

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【食品ロス削減事業】

脱温暖化・快適な環境づくりの一環として、「食品ロス削減(2000年度と比べて、2030年度に半減)」を目的に、食品ロス削減に取り組む公衛協を支援します。

クイズで学ぶ食品ロス
(対象：小学校低学年以下)
クイズを楽しみながら、食品ロスについて学習することができます。

にはんではひとりがいちにち
どのくらいのたべものをすてているかな?

